



山本 そこに遊びの良さがあると思うのだ。

異国人として自分を瞬間的にも第三人称におきかえることが楽しいんだな。都会にいて常に自分が第一人称的では窮屈でやりきれないからな。

金をどんなにかけて出かけていっても決して惜しいとは思わないもんな。

PR方法が違っていた

サイクリング

今井 サイクリングが金のかからない道楽だなんて誰かがいいだしたところ間違っていたよ。

山本 道楽なんだから、金をけちつていては道楽にならんよ。

今井 と云う事はそんな事を云ふ人に限って別にサイクリングが、好きなわけだし、何か他の目的がある人の云う事だね。まあ、それには、誰彼なくサイクリングにひきこもうとした無理があつたんだと思うな。誰でもやれますよ、ということにするには自分に面白さの経験がなく、説得力が出て来ないから、そこににがしかの云い訳が必要だつたんだと思う。要するに、サイクリングは安上がりな楽しみですよ。と思わせようとしたところに問題があつたんだな。

山本 やすいからといって流行るものだと思つたところに穴があつたんだな。頭が悪いよ。

よくハイキングの雑誌の特集に「二〇〇〇円でできるハイキング」というのがあつたが、サイクリングでならさしずめ「二〇〇〇円かけて……」ということになりそうだな。

その「二〇〇〇円で」と「二〇〇〇円かけて」とでは大分違つて感じられるもんね。奥多摩、秩父などを歩いていた僕の一〇代には、金をかけないでいくなんて考えたことはなかつたな。

山本

道楽は金をかけなければ本当はつまんないよ。

今井 面白さを購うために金がいるんだな。何もわざわざ金がかゝると云う必要もないだろうけれど、安上りで出来まますという事は、何か意気地なさを感じるね、自転車を売る時に安い車がありますと云つてい

る時と同じ考えで、趣味を売ろうとしたつて無理だよ。

山本 金をかければ、かけただけのものになる、つまり金と面白さは正比例しているんだな。

今井 これは全ての道楽に通じるんじゃないかな。なにもサイクリングだけが特殊でないということだ。

山本 便利だからだ。第一日光に行くに

写よりも、もう少し大まかでないと、サイクリングのよさがでてこないんじゃないかな。写真といえども、完全に写しだせるものではないな。そこに動きの要素が加わるからな。

今井 いかにもその感じがでていっているといつた写真が撮れるのではないだろうか。たとえば坂ののぼりの苦しみや下りの爽快さ調子よく走つているときのリズムミツクな感じを表現する何かがありそうな気がするんだが……

山本 よく下りの楽しみだなんていうが肝心なところで本人がいいだろうなんて楽しんでやうもんだから写真にならないんだな(笑)

印刷物を通して披露する写真の大きさはB5版の倍がせいぜいだな。現実の景色はシネスコ判よりはるかに大きい、その中で苦しみ、楽しみを味わうわけだが、それが小さな画面に収縮されてしまつたんでは、そこから楽しさも何も味わうのは無理だ。やはり金をかけても映画をつくらなければだめだ。

今井 秘境の面白さというのはどうだい？ 原始に帰るといふか、本能的に原始をたづねようとする人間の気持は……

山本 やはり現代というものの束縛を誰しもが感じていふからだろうな。

今井 そうかといつて、そこに住んでみるといわれても到底住みきれないのにな。

山本 理屈では、そのあたりは云えない

話で、面と向つて妨害されたらひとたまりもないな。

今井 山なんかの場合に比べて、サイクリングが天下の公道を使うという事で山とよまつてゐるが、普及の意味でまた違つ

リングは行事だと思つている傾向があるね。サイクリング協会の本来の仕事は、サイクリストの便宜をはかる事なんだと思うんだがね。勿論普及も良いが現在では普及オンリーで、出て来たサイクリストにそつぽを

るといわれても到底住みきれないのにな。

悪いよ。

山本 便利だからだ。第一日光に行くに

したつて、汽車とバスの時間待ちが辛極で
きないよ。いろは坂をあがるためなら、バ
スは何本もあるから乗れば早いがさて光徳
へ行くとなると、便がないために一日がか
りという不便さがあるんだ。

オートバイならどうだろうかとも思うが
機械のことだからいつなんどき故障がおき
るかわからない。

すると、余程の事故がない限り、直すの
に簡単な自転車ということになるわけだ。
パンクするといったつてこの程度はしよ
うがないし、つらいのはのぼりだけだから
な。

なんといつても自転車は他のものに比べ
て音がしないのがいいな。

その点オートバイの音は嫌だな。せつか
く不愉快な都会から抜け出してきたのに、
まわりに調和するはずがないな。あんなも
ので静かな旅なんか出来ないよ。

山本 その、気に入る、ということが大
事だと思う。

今井 まず自分が気に入ってなければ
人を気に入らせるのは無理だと思うな。そ
の卑屈なやり方がかえつてサイクリングを
何か低いものにし、もう一つ伸びて行かな
い原因がある事に気がつかないようだ。今
年はハンターブームと云うけど、あれも、
ゴルフもちよつと我々では手が出せないが
出せる人も多いんだから。

山本 理屈では、そのあたりは云えない
な。

機会をあたえれば、きつと気に入る人を
つかむことができるよ。

今井 執念だな(笑)

山本 今のJCAには、その執念が不足
しているな。

今の東京六大学の野球の応援にあれだけ
の人数が動員されるのは、自分とこの学
校を勝たせようという、ひとつの妄執とま
でいかないまでもやはり執念だと思ふな。
しかし連中は、月謝の代償を放棄してま
でもやろうとしているんだ。あの執念がほ
しいな。

好きなものだけが運営する協会

今井 それ程までいかなから結局、好
きな者だけでやるということになるんだら
うな。

山本 協会の運営だつて、金がなければ
できないようだつたら、はじめからやらな
ければいいんだ。好きな者だけで運営すれ
ばいいんだ。本当に好きな者がいれば、下
部の人達にもその執念がしみこんでいつて
もつと会員がふえてくるはずだよ。

今井 現在の協会はヘッドが大きすぎて
下部が不安定で、ただ組織をつくることに
だけ興味を持ち過ぎていたようだな。

山本 現存するものは、まるでトランプ
でつくつた家のように脆弱ですぐにでも崩
壊しそうだ。

まあ今は、善意を以て妨害しないだけの

話で、面と向つて妨害されたらひとたまり
もないな。

今井 山なんかの場合に比べて、サイク
リングが天下の公道を使うということで山
とは違っているが、普及の意味でまた違つ
てきているな。

山本 以前だと、とにかく何でもかんで
も集めようというのが、本当に好きな仲間
を増やそうという意味に変わっている。しか
もその場合にも、内容の考え方は皆が分れ
ているようだな。

今井 それなんだよ、協会をやっている
人が自分がこれにほれこんでいけば、何も
考えないが、本質的にすぎでないと、何か
行事をやらないと気がすまんだ、サイク

リングは行事だと思つている傾向があるね
サイクリング協会の本来の仕事は、サイク
リストの便宜をはかる事なんだと思うんだ
がね。勿論普及も良いが現在では普及オン
リーで、出て来たサイクリストにそつぽを
向いているから駄目なんだね。

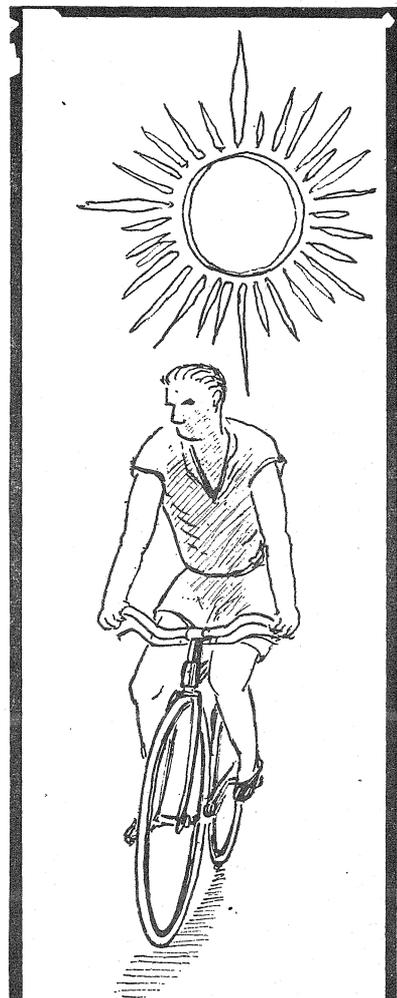
山本 共通点が面白いという点がなけれ
ば本当の意味での普及なんてありつこない
よ。

自転車にまたがる、スピード、そして遠
くえ行く、この三つだな。

今井 関西の入江という人の考え方もよ
くわかるんだ。普通に考えていて常識的だ
多少文章にレトリックがあつてもね。

山本 ありすぎてね(笑)





空は快晴
車も快調

通産大臣賞受賞



NO 6560.6561

水谷輪業株式会社

東京都台東区仲御徒町1-50
TEL 831-1286~9, 1280

リーダーの問題

今井 リーダーは本来はあつた方がいいことは彼もよく知っているんだが、現在の程度のリーダーならいらない、といいたいのを、リーダーなんかいらぬ、と早計にいつてしまふんだな。それでそれを読みとる事の出来ない人がいて何か云つてゐる事もあるね。

山本 リーダーは人を楽しませるだけではない。リーダーの恐ろしさを知らなければいけない。万が一、事故が起きた場合に誰が責任を持つかということになる。リーダーたる者は本当は責任が重いはずだ。山の場合には、場合によつては刑事問題にまでなつてリーダーが責任を追究されるんだから、リーダーになるものは、その責任をカバーできるぐらいのものを持つてい

なければ困ると思うんだ。

リーダーが後から追いつけられてスピードがだんぐはやくなることがある。それでも事故さえなければかまわないわけだ。しかし事故を未然に防ぐための制御がそのリーダーにできないとなると、もつと危険なことになるわけである。だから神経を使うことになる。

今井、せつかく走りたいと思うところを前へ出ないように、という方も嫌だが、いうことはきいてもらわなければならぬ。山本 リーダーにはなんとでも統率力が必要だ。その点では今のリーダーでは甘い。

今井 かえつて反発ができてゐるようだな。それも考え方によつては、知識というものがあれば、統率力の一つの手段になるな。結局、統率力の中味は何かということになるな。僕のリーダー講習会での発言はい

んだ。

五〇〇円以上の謝礼がアマ規定にどうのこのの……というのなんていらぬ。今井 あの人に任せておけば安心だといふようなリーダーがいれば問題ないんだが

それは、サイクルツーリング・アカデミーという講座を開くんだ。そこでツーリングに関するあらゆることをやつてみたいと

つもこれなんだが。いゝかげんにして一万一取り返しつかない事が出た時に困るから、自分がこうしたいと思つた時はそれを実行して皆にそれを守つてもらふ事は進行上必要なわけだ。その為には人格的にも知識的にも心理的影響を与えるために統率力が要求されるという事だ。

山本 自転車、コース、人の心理、といったことを知つていなければだめだ。

今井 人を活用する力量も必要だ。

山本 そんなことを考えると、空恐ろしくてリーダーなんて、うっかりできない。

各自の体験で、ある程度までやれないことはないが、そんなことでは本当はつとまらない。ましてや、前の晩に、ちよつと勉強する程度のものばかりで、その翌日リーダー講習会を受けるなんて、考えものだ。前の晩に夜遅くまで飲んで騒いでいた講習会があつたがね……

今井 実際にリーダーをやつてみて、万

全にいつたといふことはまずないな。かならず一つか二つの失敗をしているね、そんなことを考えながら帰り途につくのは後味が悪くて嫌な気持ちだ。

山本 そういふ思いが、リーダーの進歩になるんだと思うな。

今井 この間の村山へ行つた団体サイクリングでも、二箇班が途中で行方不明になつちやつたんだ。結局、むこうで会つたのだが、後味が悪いな。あれは主催者の罪だともいえるが、こちらがリーダーを引き受けたところにも罪があるからな。

そこで思うんだ団体サイクリングのことなら俺に聞け自分に任せろ、その代り、進行から行事からコースから何んでも見事運んで見せる。万全のサイクリングをやつて上げる、そしてお礼はこれだけほしい、というのできてても不思議じゃないと思うんだ云わばプロだね。

山本、万事、金の世の中だからな(笑)

今井 ツーリングの専門家になるには、この自転車にはこれ以上荷物を積めない、ということも知つていなければならぬ。そうすれば車種の知識も当然必要になつて

るんだな、ということなんだが、それがわからなければ損をする。今井 出発する間際になつて、工合の悪いところがあるんだ、という人が必ずいる

五〇〇円以上の謝礼がアマ規定にどうのこうの……というのなんていらぬな。

今井 あの人に任せておけば安心だというようなリーダーがいれば問題ないんだがな。本来の意味のプロというのはちやんと割切つてそのかわり、それに値するだけの仕事をするといい事があるんだと思うね、野球なら野球を見せて楽しませてくれるだけの技術を持っているという事で、良いかげんな事でアマチュアでございなどと云っているよりいいんだからね。

山本 プロという意味は、そういうことで考えてみると、いつでも安心して見ていられることだ。あらゆる専門家すなわちプロを見てるとそうだな。

サイクリング協会でするときは、いくらかと明示しておけばいいんだ。あいつは何級のプロだということもやればいいと思うんだ。

今井 そうだな。初心者が何人か入つているときは〇〇級、これこれ以上の走行距離のときは〇〇級と、検定標準を設けとけばいいんだ。

山本 リーダーは、サイクリングの面白味を、何かの形で教える役目があるんであつて、単に安全に運行するための交通巡査でもなければ運送業じゃないんだからな。

ツーリングアカデミー

今井 サイクルツーリングの楽しみを適確に文章に表わしたのは少ないようだな。そのことで以前から考えていることがある

んだ。

それは、サイクルツーリング・アカデミーという講座を開くんだ。そこでツーリングに関するあらゆることをやつてみたいと思うんだ。できたら来年やりたいな。

楽しみを見つければいいか、楽しみを増す手段として面白いと思うんだ。ツーリングにも、いろ／＼技術が必要だ。それがあつてもつと楽しみができていくわけだ。

山本 ツーリングにでかけるには、物事に動じないことが肝心だ。日本のような気候じゃ、日帰りでも雨に降られることだつてあるのだから、雨が降つてきたといつて動揺したんじやうまくないな。

今井 最近、いろ／＼な紀行文を読んでみて感じるの、僕らが考えている以上に事故が多いんだ。そんなに乗っている車が違ふからだとは思えないし、そう事故があるとは思えない。しかもそれが僕らが普段あまり出くわさないような事故なんだ。

山本 ものに対する知識と扱い方がわかつていけば事故はないはずだ。

サイクリングの場合にも不可能なことがあることを知らしておく必要があると思うんだ。これ以上ひどい道じゃ無理ですよというふうなことだ。こんなことも起るかもしれないよ、とあり得ることを何かの形で充分知らしておくことだ。

そういうことがない、と思つている方が実は誤りなんだ。

今井 ツーリングの専門家になるには、この自転車にはこれ以上荷物を積めない、ということも知つていなければならぬし、そうすれば車種の知識も当然必要になつてくる。

地図の問題も天気の問題もいろ／＼な知識があるのとツーリングはうんと楽しくなるはずだから、出来ればそんな専門家に来てもらつて講座を聞き、これをやるとツーリングは一流になれるといつた面白くて為めになる講習会を開きたいと思つているんだ。

山本 一般に旅行は下手だ。時間の使い方がだめなんだ。そこで急いで、ここではのんびりする、つまり急ぐときには早く走れるし、ゆつくりのときには解放されてのんびりとした走り方になる、といつたやり方だ。レースではないが、全体をみてスタミナの配分(?)がまずいんだ。

僕たちは、例えば、自転車を送る手続きのときは、はやくやれるトレーニングというか、要するに慣れているからさつさとやる。その駅が田舎の駅ならある程度の融通が効くことも知つている。

この程度で走れば、ゆつくり間に合うからあつていいことはない、だからのんびりしていこうという必然性を、お互に知つていんだ。

またふるい人は、新しい人に比べて団体行動がうまいな。たとえば、休憩していて誰かが煙草を捨てたとすると、じゃでかけ

るんだな、ということなんだが、それがわからなければ損をする。

今井 出発する間際になつて、工合の悪いところがあるんだ、という人が必ずいるが、そんな場合は少々疲れていても休憩の直後に直して置くようにする必要はあるな。万一出来なかつたら、少しぐらいのことならわれ／＼なら次の休憩まで我慢して行つてしまふな。皆のためにそれぐらいの神経を使う必要があるということだ。

自分で作り出す旅

山本 今の若い人は……というふうない方はどうかと思うが、サイクリングをやつていける人は何を考えているのかな？

旅行が好きならばかりでもないらしいがたとえば旅行にでかけるにしてもその前にあまり本やなんかを読んで調べないようだな。もつと調べればもつと面白くなるんだがな。

今井 もつと当人のためにも、自分の目でものを見ることが必要だ。どこへ行くにも最初からある概念を持つていって、いざそこへぶつつかつた時に新鮮な驚きがなくつて、つまらないと思うがね、その場に立つてしみじみ見て感ずることが一番大きな収穫だと思ふね。

まず自分で考えてそれによつて行動を起すようにする事、自分の印象を大切にすること、驚きを見出す事、これを多くのサイクリストへのアドバイスとしたいね、ではこの辺で。